

2022年11月14日

各位

会社名 株式会社ペアキャピタル
(コード番号 9559 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 田中 哲
問合せ先 取締役 CFO 西園 直記
T E L 03-6456-3481
U R L <https://p-capital.co.jp/>

(訂正)「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正に関するお知らせ

2022年11月14日に公表しました「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容につきまして一部訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線__にて表示しております。

1. 訂正の理由

「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の公表後に記載内容の一部誤りが判明したため、訂正するものであります。

尚、本訂正は当社担当 J-Adviser である J トラストグローバル証券株式会社が、訂正前の適時開示資料を誤って TDnet へ登録したため、行うものであります。

2. 訂正箇所 サマリー 1 ページ

【訂正前】

1. 2022年9月期の業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

(1) 経営成績

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	46.07	43.93	95.1	35.7	21.1
2021年9月期	20.42	—	80.3	27.3	21.0

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 — 百万円 2020年9月期 — 百万円

【訂正後】

1. 2022年9月期の業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

(1) 経営成績

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	46.07	43.93	95.1	35.7	21.1
2021年9月期	20.42	—	80.3	27.3	21.0

(参考) 持分法投資損益 2022年9月期 — 百万円 2021年9月期 — 百万円

3. 訂正箇所 サマリー 2 ページ

【訂正前】

※注記事項

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期	2,000,000株	2021年9月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期	—株	2021年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2022年9月期	2,000,000株	2021年9月期	2,000,000株

(注) 当事業年度貸借対照表日後（2022年5月12日付）において1株につき2,000株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

【訂正後】

※注記事項

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期	2,000,000株	2021年9月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期	—株	2021年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2022年9月期	2,000,000株	2021年9月期	2,000,000株

(注) 2022年5月12日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

4. 訂正箇所 添付資料1 ページ

【訂正前】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	10

【訂正後】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

5. 訂正箇所 添付資料 2 ページ

【訂正前】

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

総資産は 530,120 千円となりました。

流動資産につきましては、493,367 千円（前期末比 296,133 千円増加）となりました。これは主に、長期借入金による資金調達を行ったことにより現金及び預金が 482,939 千円（同 388,303 千円増加）となったことに加え、売掛金の回収により売掛金が 0 千円（同 99,332 千円減少）となったことによるものです。

【訂正後】

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

総資産は 530,120 千円となりました。

流動資産につきましては、493,367 千円（前期末比 296,133 千円増加）となりました。これは主に、長期借入金による資金調達及び売掛金の回収により現金及び預金が 482,939 千円（同 388,303 千円増加）となったことによるものです。

6. 訂正箇所 添付資料 3 ページ

【訂正前】

1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

高齢化社会が進むわが国においては、円滑な事業承継並びに産業の再活性化のための M&A ニーズは引き続き継続するものと見込まれます。これを受けて、当社はさらなる企業規模拡大を目指すために、優秀なコンサルタントの採用・教育といった投資を継続する方針です。

このような環境の中、翌事業年度（2023 年 9 月期）の業績見通しにつきましては、売上高 771,600 千円（前年同期比 129,586 千円増）、営業利益 61,688 千円（同 74,025 千円減）、経常利益 59,947 千円（同 74,746 千円減）、当期純利益 39,565 千円（同 52,566 千円減）を予想しております。

【訂正後】

1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

高齢化社会が進むわが国においては、円滑な事業承継及び産業の再活性化のための M&A ニーズは引き続き継続するものと見込まれます。これを受けて、当社はさらなる企業規模拡大を目指すために、優秀なコンサルタントの採用・教育といった投資を継続する方針です。

このような環境の中、翌事業年度（2023 年 9 月期）の業績見通しにつきましては、売上高 771,600 千円、営業利益 61,688 千円、経常利益 59,947 千円、当期純利益 39,565 千円を予想しております。

7. 訂正箇所 添付資料 8 ページ

【訂正前】

3. 財務諸表及び主な注記

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2020年10月14日 至 2021年9月30日)	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	61,027	134,692
減価償却費	-	9,232
受取利息	△0	△1
支払利息	538	906
売上債権の増減額 (△は増加)	△99,332	99,332
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,490	△6,858
未払金の増減額 (△は減少)	7,687	1,466
未払費用の増減額 (△は減少)	50,068	△21,526
未払消費税等の増減額 (△は減少)	-	51,419
預り金の増減額 (△は減少)	2,028	8,888
その他	△159	2,475
小計	20,368	280,026
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△538	△906
法人税等の支払額	0	△41,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,830	237,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△253	△1,689
差入保証金の差入による支出	△17,903	-
差入保証金の回収による収入	999	2,100
長期前払費用の増加による支出	△3,650	△1,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,807	△31,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	-	22,500
株式発行による収入	10,000	-
長期借入れによる収入	95,000	205,000
長期借入金の返済による支出	△9,387	△76,007
その他	-	722
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,613	152,215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,636	358,303
現金及び現金同等物の期首残高	-	94,636
現金及び現金同等物の期末残高	94,636	452,939

【訂正後】

3. 財務諸表及び主な注記

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	(自	2020年10月14日	(自	2021年10月1日
	至	2021年9月30日)	至	2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期純利益		61,027		134,692
減価償却費		-		9,232
受取利息		△0		△1
支払利息		538		906
売上債権の増減額 (△は増加)		△99,332		99,332
前払費用の増減額 (△は増加)		△1,490		△6,858
未払金の増減額 (△は減少)		7,687		1,466
未払費用の増減額 (△は減少)		50,068		△21,526
未払消費税等の増減額 (△は減少)		-		51,419
預り金の増減額 (△は減少)		2,028		8,888
その他		△159		2,475
小計		20,368		280,026
利息及び配当金の受取額		0		1
利息の支払額		△538		△906
法人税等の支払額		-		△41,467
営業活動によるキャッシュ・フロー		19,830		237,653
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入による支出		-		△30,000
有形固定資産の取得による支出		△253		△1,689
差入保証金の差入による支出		△17,903		-
差入保証金の回収による収入		999		2,100
長期前払費用の取得による支出		△3,198		△1,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		△20,355		△31,566
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		-		22,500
株式発行による収入		10,000		-
長期借入れによる収入		95,000		205,000
長期借入金の返済による支出		△9,387		△76,007
その他		△451		722
財務活動によるキャッシュ・フロー		95,161		152,215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		94,636		358,303
現金及び現金同等物の期首残高		-		94,636
現金及び現金同等物の期末残高		94,636		452,939

8. 訂正箇所 添付資料9 ページ

【訂正前】

- 3. 財務諸表及び主な注記
- (5) 財務諸表に関する注記事項
(収益認識に関する会計基準等の適用)

【訂正後】

- 3. 財務諸表及び主な注記
- (5) 財務諸表に関する注記事項
収益認識に関する会計基準等の適用

9. 訂正箇所 添付資料9 ページ

【訂正前】

- 3. 財務諸表及び主な注記
- (5) 財務諸表に関する注記事項
(時価の算定に関する会計基準等の適用)

【訂正後】

- 3. 財務諸表及び主な注記
- (5) 財務諸表に関する注記事項
時価の算定に関する会計基準等の適用

10. 訂正箇所 添付資料 10 ページ

【訂正前】

3. 財務諸表及び主な注記

(5) 財務諸表に関する注記事項

(1 株当たり情報)

(注) 3. 1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当事業年度 (自 2020年10月14日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1 株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	40,842	92,130
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益 (千円)	40,842	92,130
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,000,000	2,000,000
潜在株式調整後 1 株当たり当期 純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	-	<u>92,130</u>
普通株式増加数 (株)	-	97,155
(うち新株予約権(株))	-	(97,155)
希薄化効果を有しないため、潜 在株式調整後 1 株当たり当期純 利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	第 1 回新株予約権 (新株予約権の数49個、普通株式98,000 株)	-

【訂正後】

3. 財務諸表及び主な注記

(5) 財務諸表に関する注記事項

(1株当たり情報)

(注) 3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度 (自 2020年10月14日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	40,842	92,130
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益 (千円)	40,842	92,130
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,000,000	2,000,000
潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数 (株)	-	97,155
(うち新株予約権(株))	-	(97,155)
希薄化効果を有しないため、潜 在株式調整後1株当たり当期純 利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	第1回新株予約権 (新株予約権の数49個、普通株式98,000 株)	-

以上